

信濃川水系信濃川

Shinanogawasuikei SHINANOAWA



After

Before



やすらげる水辺。

傾斜をほとんど感じない緩やかな斜面（5割勾配）を持つ堤防整備に全国で初めて取り組みました。護岸前面には、伝統的な河川工法である「粗朶沈床（そだちんしょう）」（※1）を施工。水中に生まれた隙間が魚類など水生生物の生息場となっています。市街地の貴重な水辺空間として子どもから大人まで多くの市民に利用され、「やすらぎ堤」の名称で親しまれています。

※1 長さ3m程度、直径2～3cm程度の木の枝（粗朶）を束ねて枠を組み、その中に石を入れて沈ませ、水の勢いで川底が掘られることを防ぐ工法。



N37度55分1秒 E139度2分58秒
(37.917,139.049)